

4回生 必修科目「言語文化」授業のシラバス

教科名	国語	科目名	言語文化	単位数	2	単位
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。					
教科書	言語文化（数研出版）	副教材	みるみる覚える古文単語300＋敬語30 三訂版（いいずな書店） 高校生の古典文法 七訂版（京都書房） 漢文必携（桐原書店） 学習課題ノート（数研出版） 常用国語便覧（浜島書店） 新現代文単語（いいずな書店）			

1 学習の目標

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに表現したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の方法

- (1) 予習について ○シラバスを用いて学習内容を確認し、ノートに次のことを予習する。
 - ＜古文・漢文の場合＞
 - ①新しい単元に入る時は、本文を全文読み、ノートに書き写す。
 - ②語句の意味調べをする（教科書下段の＊印を中心にわからないものをすべて調べる）。
 - ③文語のきまりや訓読のきまりを駆使しながら、現代語訳を作成する。
 - ④作品の出典について、国語便覧を利用して調べる。
 - ＜近現代文の場合＞
 - ①新しい単元に入る時は、本文を全文読んでおく。
 - ②語句の意味調べをする（教科書下段の＊印を中心にわからないものをすべて調べる）。
- (2) 授業について
 - ①古文の場合、文語のきまり（品詞と品詞の用法、活用、意味など）を理解し、文の構成を把握して、文章の展開や流れをつかみ、主題を理解し、作品を読み味わうことを目標にしよう。
 - ②漢文の場合、訓読のきまりを理解し、基本的な句形や語や文の構成を把握して、主題を理解し、作品を読み味わうことを目標にしよう。
 - ③近現代文の文学的な文章の場合、登場人物の心情が変化する場面及び文章中の客観的な証拠をおさえ、作品を通しての筆者の主張を読み取ることを目標としよう。
 - ④授業全般を通して、発問については、必ず自分で答えを出し、他者の意見や解答例と比較しよう。
- (3) 復習について
 - ①単元終了後に、テーマや主題についてまとめる。
 - ②シラバスを用いて、学習内容の項目ごとに理解しているかを確認し、不十分な部分をノートや課題集を通して再確認する。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
②思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに表現したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料											シラバス 振り返り	
	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノ ート	ワ ーク シ ート	討 議			
①知識・技能	◎		◎		○	○			○				
②思考・判断・表現	◎		○		◎	◎							
③主体的に学習に取り組む態度	○					○			◎				◎

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 として の誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元／教材名	目標（※各単元でマスターすべき項目）	資質・能力
	古文（説話）／『宇治拾遺物語』（絵仏師良秀）	※用言、係り結び、助動詞（ず、き、けり、つ、ぬ、たり、り）	ACDFLM
	漢文（入門）／「入門」（入門一、二）	※訓点、再読文字	ACDFLM
	現代文（近代小説）／『羅生門』	※文学的表現を読み取る、文学的表現を使って書く	ACDEFHI
中間考査			
	古文（随筆）／『徒然草』（同じ心ならん人と）	※助動詞（む・むず・べし等）、接続助詞「ば」	ACDFLM
	漢文（故事）／『戦国策』（狐借虎威）	※否定、疑問・反語、詠嘆、使役、受身	ACDFLM
	現代文（詩歌）／「サーカス」「I was born」、短歌、俳句	※韻文（詩歌）の特徴、修辞技法 等	ACDEFHI
期末考査			
	古文（歌物語・和歌）／『伊勢物語』（筒井筒）、『大和物語』（あづさ弓）、『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』	※和歌の修辞	ACDFLM
	漢文（史伝）／『十八史略』（先從隗始）	※抑揚	ACDFLM
	現代文（近代小説）／『山月記』	※文学的表現を読み取る	ACDEFHI
中間考査			
	古文（随筆）／『枕草子』（雪のいと高う降りたるを）	※敬語	ACDFLM
	漢文（漢詩・文章）／中国の詩、「雑説」	※漢詩の詩形・押韻、部分否定と全部否定の違い	ACDFLM
	現代文（小説）	※文学的表現を読み取る	ACDEFHI
期末考査			
	古文（まとめ）	※一年間の復習・応用	ACDFLM
	漢文（まとめ）	※一年間の復習・応用	ACDFLM